

6. 諸課題に対応する海岸事業調査費の充実

○設計外力を超える規模の津波・高潮に対する対処方策の検討

これまでの津波・高潮対策は、計画を超える津波・高潮が発生し甚大な被害を受けた場合は、その都度、計画規模を高めて施設整備を進め安全性を向上させてきた。しかし、津波・高潮は自然現象であり、計画規模や整備途上の施設の整備水準を超える規模の津波・高潮が発生する懸念があることから、設計外力を超える規模の津波・高潮に対する対処方策の検討に関する調査研究を行う。

○海岸環境を考えた養浜手法に関する調査研究

養浜事業は単なる海岸侵食対策としてだけではなく、環境保全の観点から景観や生物の生息・生育環境等の保全などについても配慮しながら進める必要がある。

このため、従来の養浜事業を専門的な見地から評価しつつ、環境に配慮するための留意点を整理し、環境と調和した望ましい養浜手法に関する調査研究を行う。

海岸における生物の多様性にかんがみ、各種生物の生息・生育環境を配慮。



海浜植生(ハマヒルガオ)



コアジサシ



シオマネキ



アカウミガメ

○侵食の状況変化に対応した効率的・効果的な侵食対策に関する調査研究

近年、汀線に変化は見られないものの、沖合で海底の侵食が進行しているような事例があらわれてきている。沖合で海底地形の侵食が進めば将来的には海岸侵食が生じ、また、既設の海岸保全施設にも深刻な影響を及ぼすことが予想されることから、侵食の状況変化に対応した侵食対策の実施が必要である。このため、そのような事例について、全国的に調査を行い、海底地形の侵食状況の変化を分析するとともに、効率的・効果的な侵食対策に関する調査研究を行う。